

新たな子ども・子育て支援制度に関する アンケート調査結果（速報）

【目次】

1. 調査概要	1
2. 調査結果概要	2
3. 調査結果	4
【就学前児童】	
（１）回答者属性	4
（２）子どもの育ちをめぐる環境	6
（３）保護者の就労の状況	9
（４）平日の定期的な教育・保育の利用状況	10
（５）地域子育て支援事業の利用状況等	11
（６）職場の両立支援制度について	13
（７）子育て支援策全般について	15
【小学生児童】	
（１）回答者属性	16
（２）子どもの育ちをめぐる環境	18
（３）保護者の就労の状況	20
（４）放課後の子どもの過ごし方	21
（５）子育て支援策全般について	23

1. 調査概要

① 調査の目的

子ども・子育て支援新制度の施行に向けた教育・保育等に関する利用意向等のニーズの状況把握や住民の子育て支援に関する生活実態や意見等を把握し、次期計画策定の基礎資料とするために実施した。

② 調査の対象

精華町在住の就学前児童 1,500 人（無作為に抽出）

精華町在住の小学生児童 1,345 人（無作為に抽出）

③ 調査の方法

調査は無記名とし、平成 25 年 10 月 28 日から 11 月 15 日を調査期間として、配布・回収ともに郵送により実施しました。

④ 回収の状況

■就学前児童

回収数：609 件

有効回答率：40.3%

■小学生児童

回収数：601 件

有効回答率：44.6%

調査結果の表記について：百分率については、それぞれの調査の有効回答数（n）を基数として算出。小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計は、必ずしも 100.0%にならない。

2. 調査結果概要

【就学前児童】

（回答者属性）

○ 祖父母との近居が多くなっています。

- ・ 多い順から、「東光小学校」26%、「川西小学校」22%、「精華台小学校」19%、「山田荘小学校」17%、「精北小学校」13%
- ・ 全体の約 65%が、祖父母と近居（概ね 30 分以内で行き来できる範囲）。

（子どもの育ちをめぐる環境）

○ 約 56%の子どもが、就学前の教育・保育を利用しています。

- ・ 「保育所」の利用が最も多く 33%、次いで「通っていない」が約 30%、「幼稚園」の利用が約 22%

○ 子どものしつけや子どもを叱ることに関する悩みや不安が多くなっています。

- ・ 子どもに対する子育ての悩みは、「子どものしつけ」が最も多く 55%、次に「子どもの教育や将来の教育費」への不安が約 43%など。
- ・ 保護者自身の子育ての悩みは、「子どもを叱りすぎているような気がする」が最も多く約 34%、次いで「仕事や自分のやりたいことができない」が約 33%となっている。

○ 多くの人が、友人や知人、祖父母等の親族などの身近な人に、子育ての悩み相談をしています。

- ・ 「祖父母等の親族」が最も多く約 73%、次いで「友人や知人」が約 71%など。母子福祉推進員、児童相談所など、専門職への相談は少ない。相談できる人・場所が「いない/ない」人は約 4%

（平日の定期的な教育・保育の利用状況）

○ 約 55%の子どもが、平日に定期的な教育・保育を利用しています。

- ・ 「利用している」と答えた方のうち、「保育所」の利用が最も多く約 58%、「幼稚園」は 35%。

（地域子育て支援事業の利用状況）

○ 地域子育て支援拠点事業を利用していない人が過半数を超えています。

- ・ 「利用していない」が最多で約 58%、次に「地域子育て支援拠点事業」を利用している方が約 24%。

○ 「せいか子育て情報誌「SukuSuku」・「保育所や幼稚園の園庭等の開放」は、認知度・利用状況・利用意向とも高くなっています。「家庭教育に関する学級・講座」は認知度が低くなっています。

- ・ 「せいか子育て情報誌「SukuSuku」・「保育所や幼稚園の園庭等の開放」の認知は 80%を超えている一方、「家庭教育に関する学級・講座」は認知度が低い。
- ・ 「せいか子育て情報誌「SukuSuku」・「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が多く利用されている。これらについては、今後の利用意向も 50%を超えている。

（子育て支援策全般について）

○ 子育ての環境や支援への満足度は「満足（満足＋どちらかといえば満足）」が約 42%、「不満（不

満＋どちらかといえば不満)」が約 16%となっています。

- ・ 「どちらともいえない」が最も多く約 40%、次いで「どちらかといえば満足」が 34%、「どちらかといえば不満足」が約 12%など。

○ 子育て支援施策として、「経済的負担の軽減」が求められています。

- ・ 「子育てにおける経済的負担の軽減」が最も多く約 71%、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」が約 62%など。

【小学生児童】

(回答者属性)

○ 祖父母との近居が多くなっています。

- ・ 多い順から、「精華台小学校」31%、「東光小学校」28%、「山田荘小学校」16%、「川西小学校」14%、「精北小学校」11%
- ・ 全体の約 57%が、祖父母と近居（概ね 30 分以内で行き来できる範囲）。

(子どもの育ちをめぐる環境)

○ 子どもの教育・教育費や子どもを叱ることに関する悩みや不安が多くなっています。

- ・ 子どもに対する子育ての悩みは、「子どもの教育や将来の教育費」が最も多く約 61%、次いで「友だちづきあい」が約 42%など。
- ・ 保護者自身の子育ての悩みは、「子どもを叱りすぎているような気がする」が最も多く約 39%、次いで「特にない」が 28%など。

○ 多くの人が、友人や知人、祖父母等の親族などの身近な人に、子育ての悩み相談をしています。

- ・ 「友人や知人」が最も多く 74%、次いで「祖父母等の親族」が約 62%、「近所の人」が約 27%などと。また、母子福祉推進員、児童家庭支援センターなど専門職への相談は少ない。相談できる人・場所が「いない/ない」は約 6%

(放課後の子どもの過ごし方)

○ 放課後は自宅や習い事で過ごす子どもが多く、放課後児童クラブの利用は約 2 割となっています。

- ・ 「自宅」が最も多く約 74%、次いで「習い事」が約 73%、「放課後児童クラブ」が約 22%など。

(子育て支援策全般について)

○ 子育ての環境や支援への満足度は「満足（満足＋どちらかといえば満足）」が約 39%、「不満（不満＋どちらかといえば不満）」が約 15%となっています。

- ・ 「どちらともいえない」が最も多く約 45%、次いで「どちらかといえば満足」が約 31%、「どちらかといえば不満」が約 11%など。

○ 子育て支援施策として、「経済的負担の軽減」が求められています。

- ・ 「子育てにおける経済的負担の軽減」が最多で約 70%、次に「子育てのための安心、安全な環境整備」が約 63%など。

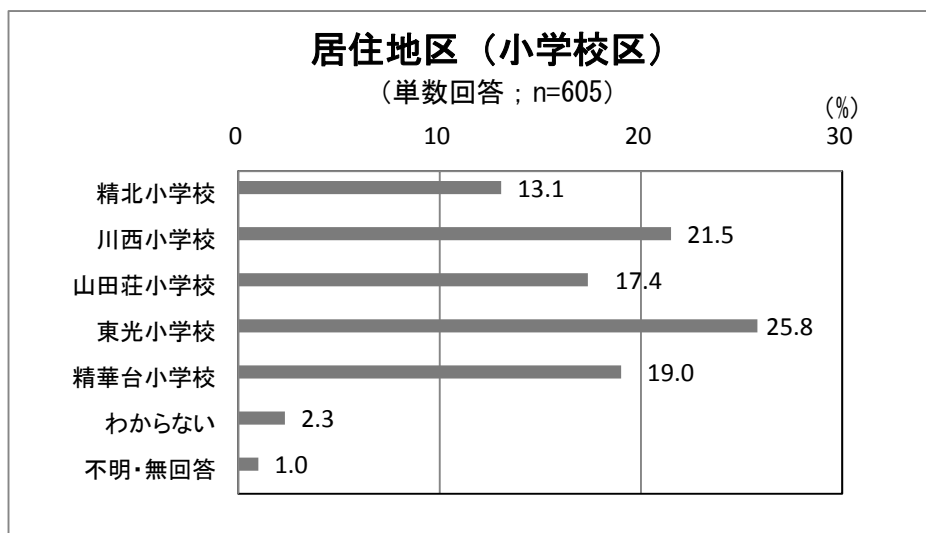
3. 調査結果

【就学前児童】

(1) 回答者属性

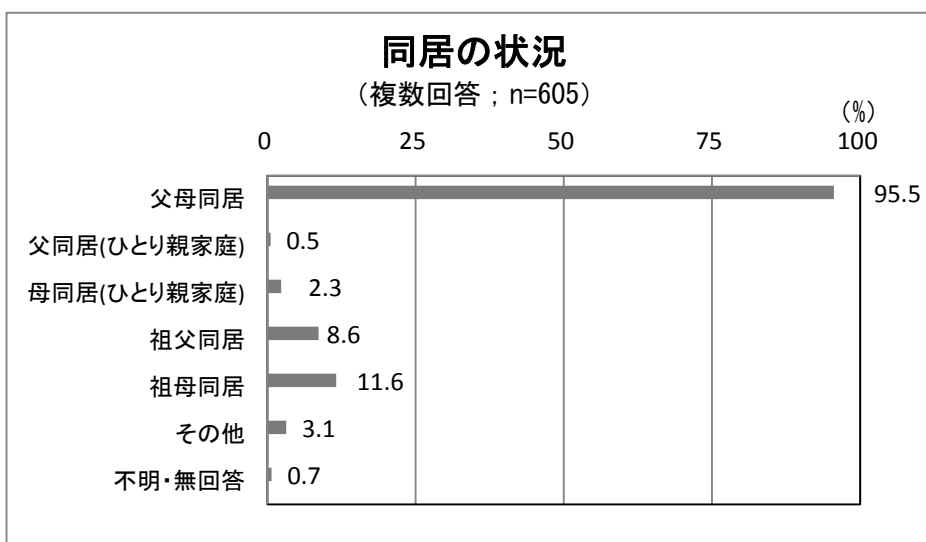
① 居住地区（小学校区）

「東光小学校」が最も多く 25.8%、次いで「川西小学校」が 21.5%、「精華台小学校」が 19.0%、「山田荘小学校」が 17.4%、「精北小学校」が 13.1%となっています。



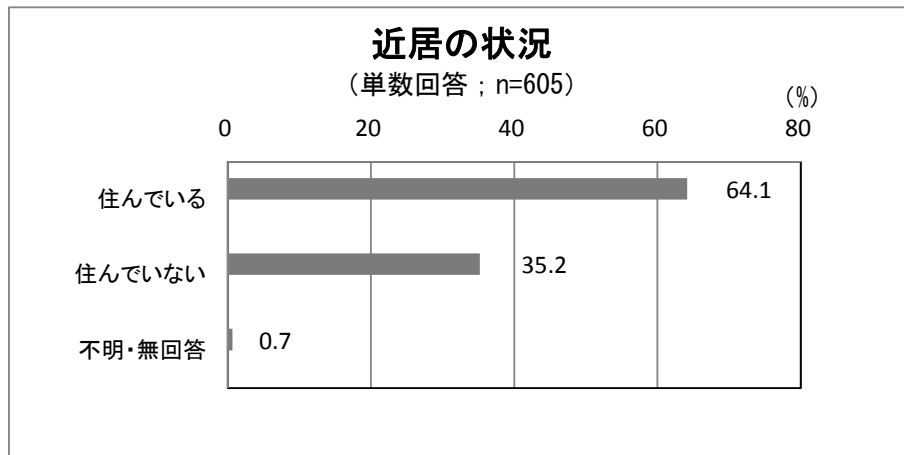
② 同居の状況

「父母同居」が最も多く 95.5%、次いで「祖母同居」が 11.6%などとなっています。
また、ひとり親家庭については、「父同居（ひとり親家庭）」が 0.5%、「母同居（ひとり親家庭）」が 2.3%となっています。



③ 祖父母の近居の状況

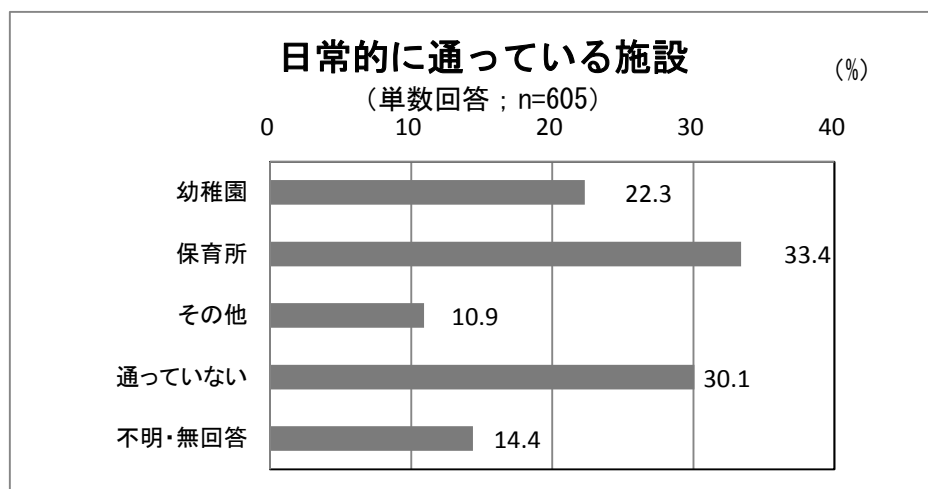
「住んでいる」が 64.1%、「住んでいない」が 35.2%となっています。



(2) 子どもの育ちをめぐる環境

① 日常的に通っている施設

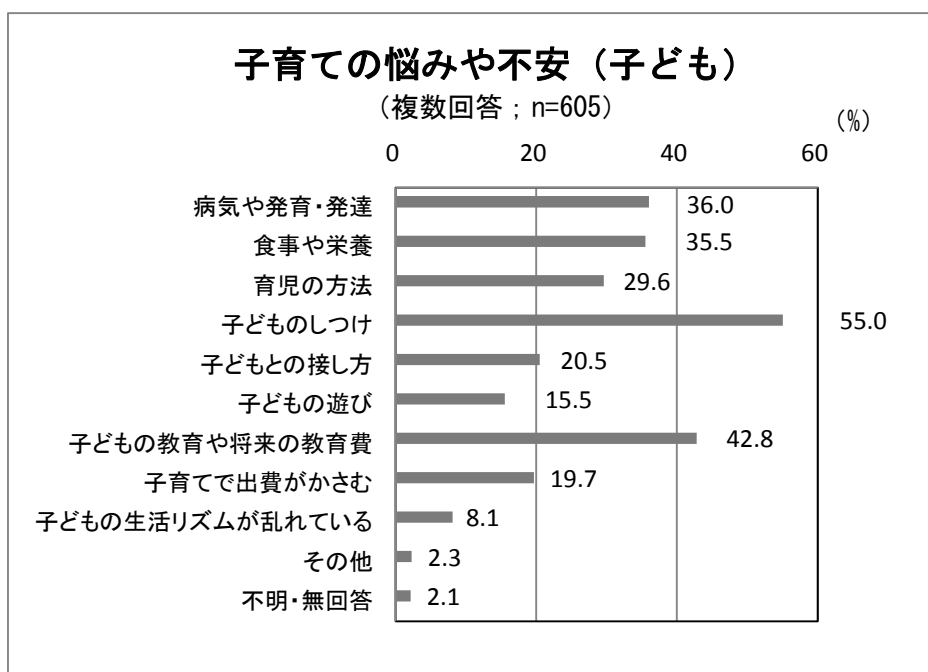
「保育所」が最も多く 33.4%、次いで「通っていない」が 30.1%、「幼稚園」が 22.3%となっています。



② 子育ての悩みや不安

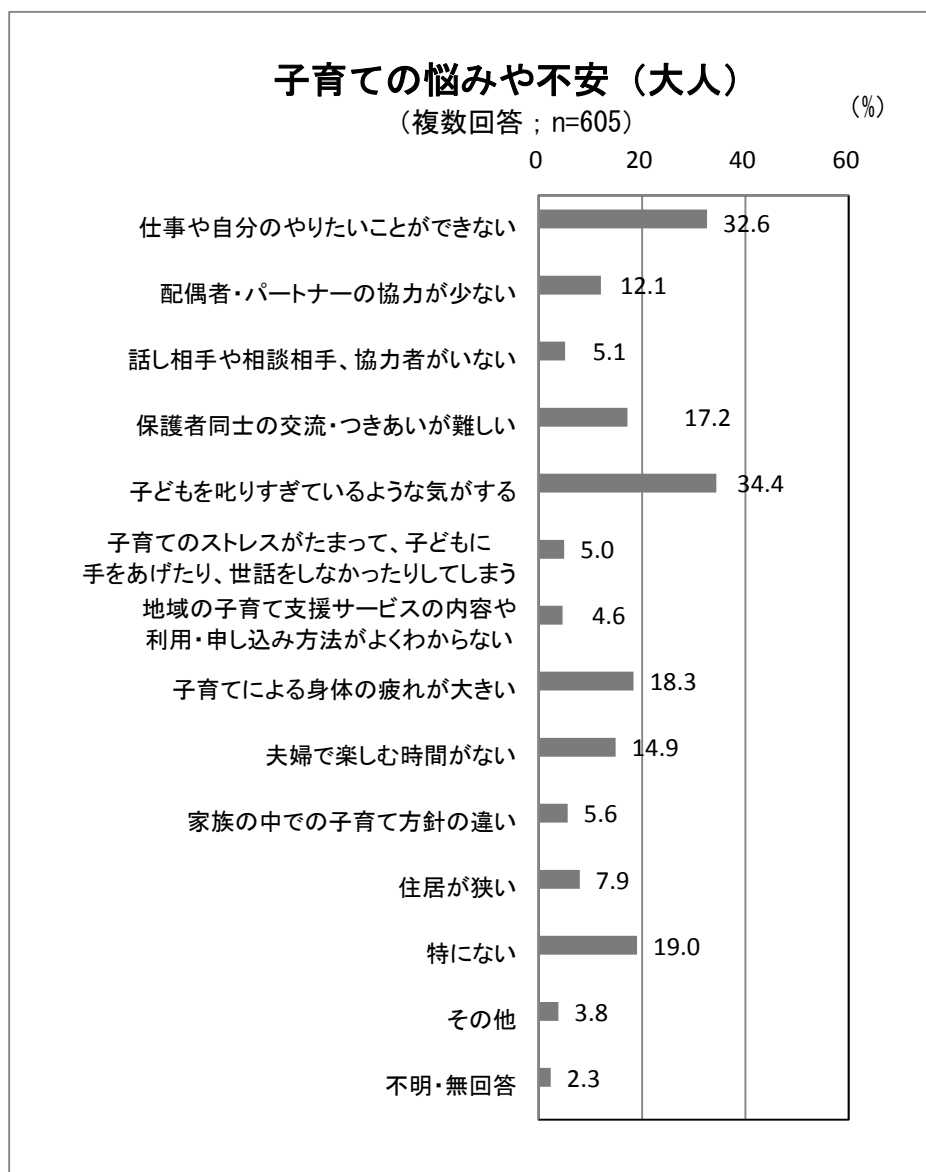
【子どもに対する悩み】

「子どものしつけ」が最も多く 55.0%、次いで「子どもの教育や将来の教育費」が 42.8%、「病気や発育・発達」が 36.0%、「食事や栄養」が 35.5%などとなっています。



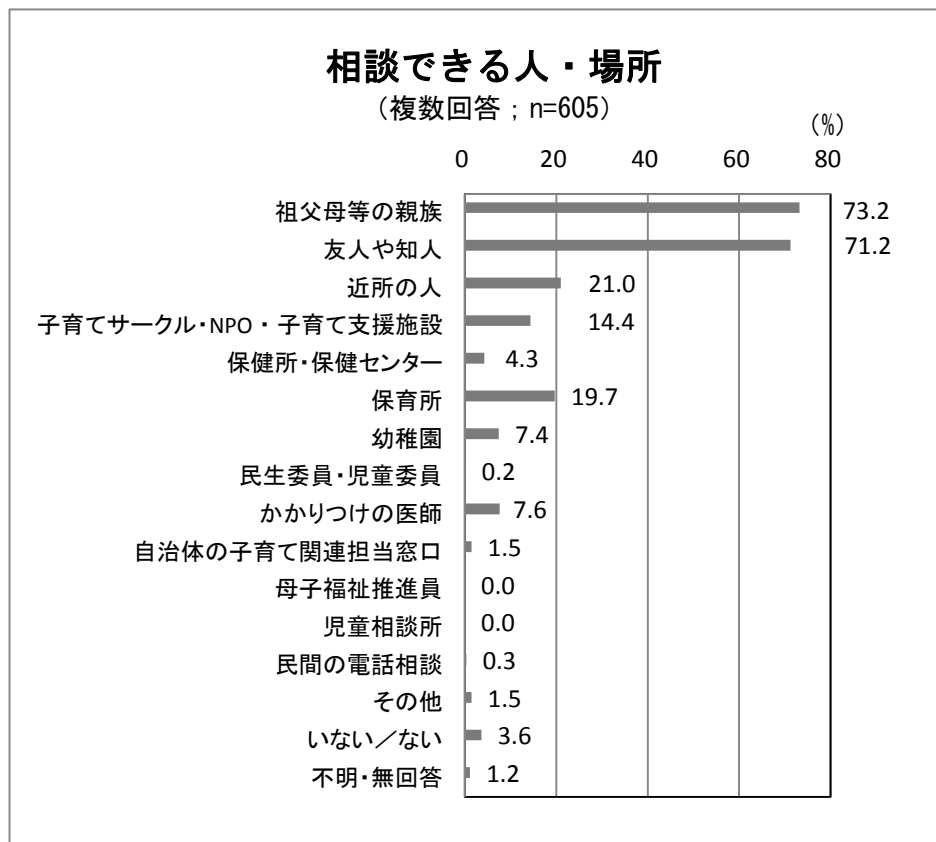
【保護者の悩み】

「子どもを叱りすぎているような気がする」が最も多く 34.4%、次いで「仕事や自分のやりたいことができない」が 32.6%、「特にない」が 19.0%などとなっています。



③ 相談できる人・場所

「祖父母等の親族」が最も多く 73.2%、次いで「友人や知人」が 71.2%などとなっています。また、相談できる人・場所が「いない/ない」は 3.6%となっています。

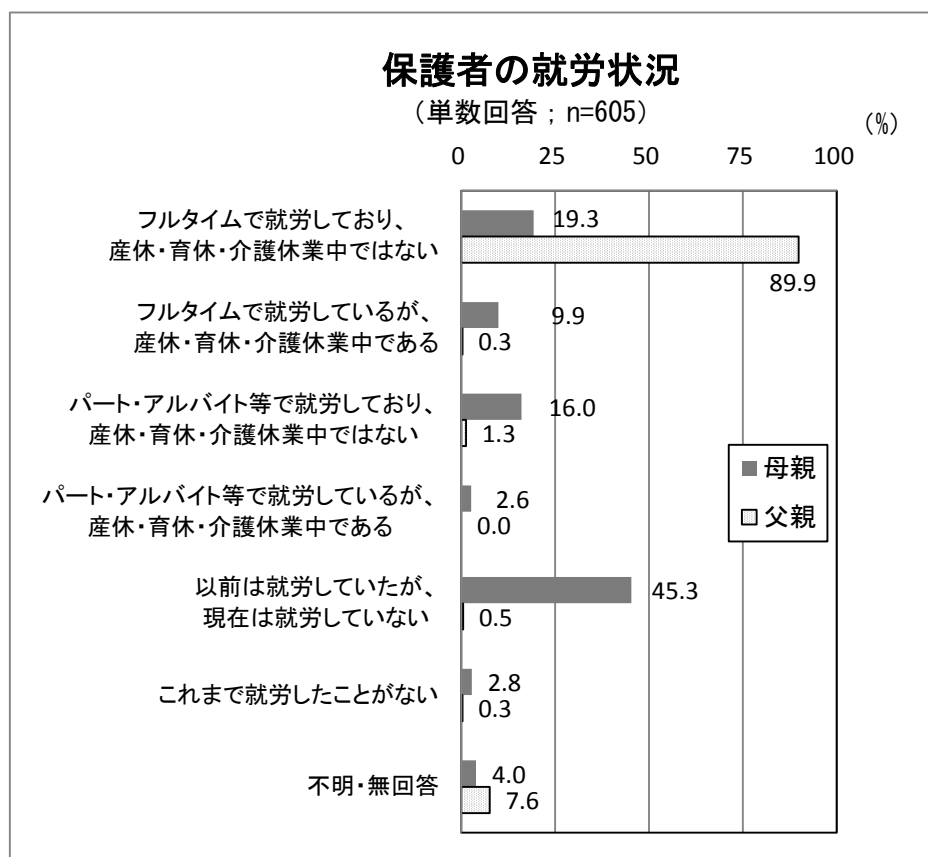


(3) 保護者の就労状況

① 保護者の就労状況

母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も多く 45.3%、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 19.3%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 16.0%、などとなっています。

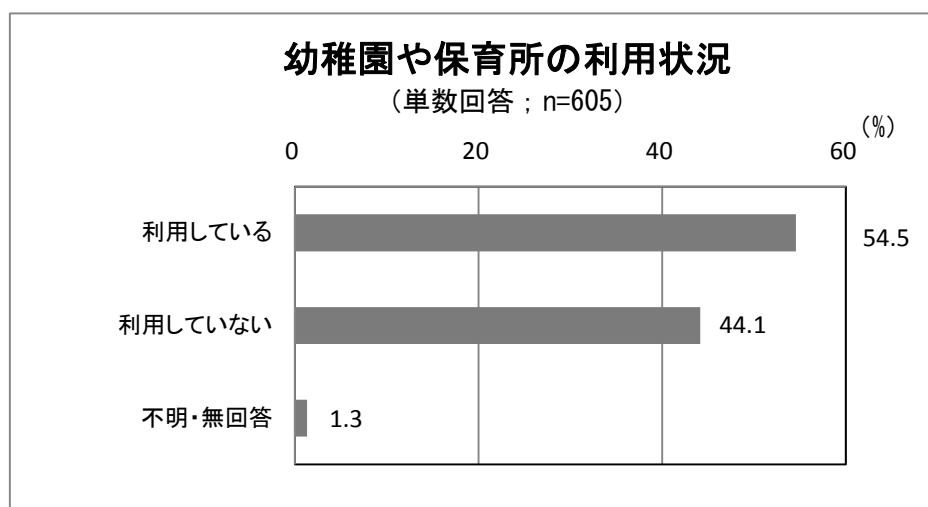
父親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 89.9%などとなっています。



（４）平日の定期的な教育・保育の利用状況

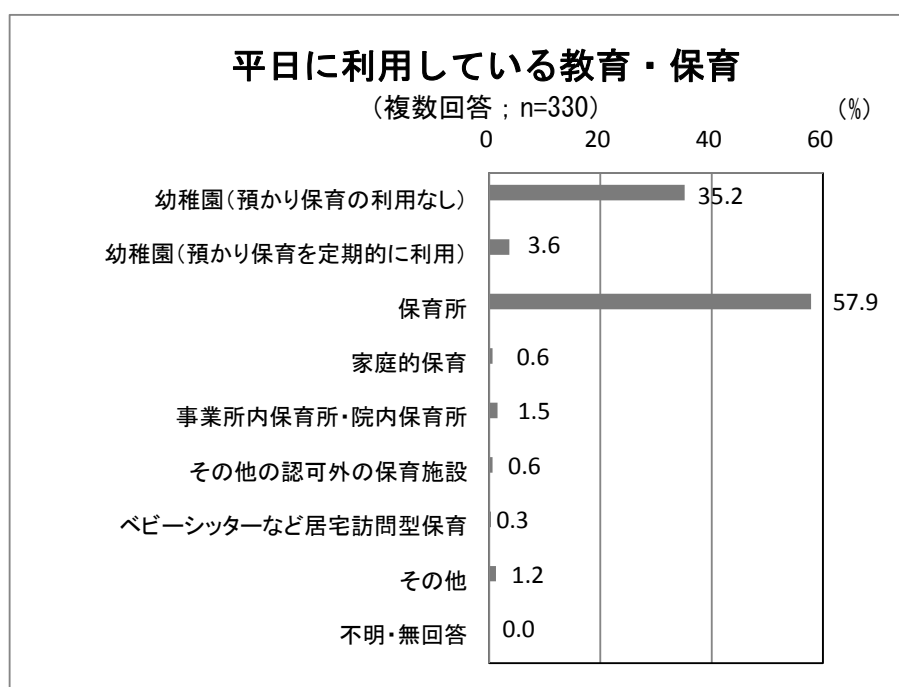
① 幼稚園や保育所の利用状況

「利用している」が最も多く 54.5%、次いで「利用していない」が 44.1%となっています。



② （①で「利用している」と回答した方が）平日利用している教育・保育

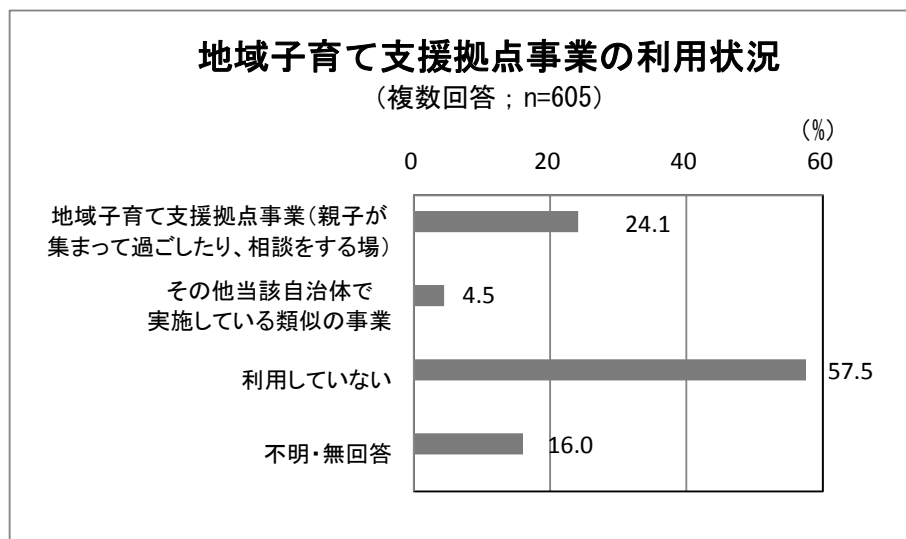
「保育所」が最も多く 57.9%、次いで「幼稚園（預かり保育の利用なし）」が 35.2%などとなっています。



(5) 地域子育て支援事業の利用状況等

① 地域子育て支援拠点事業の利用状況

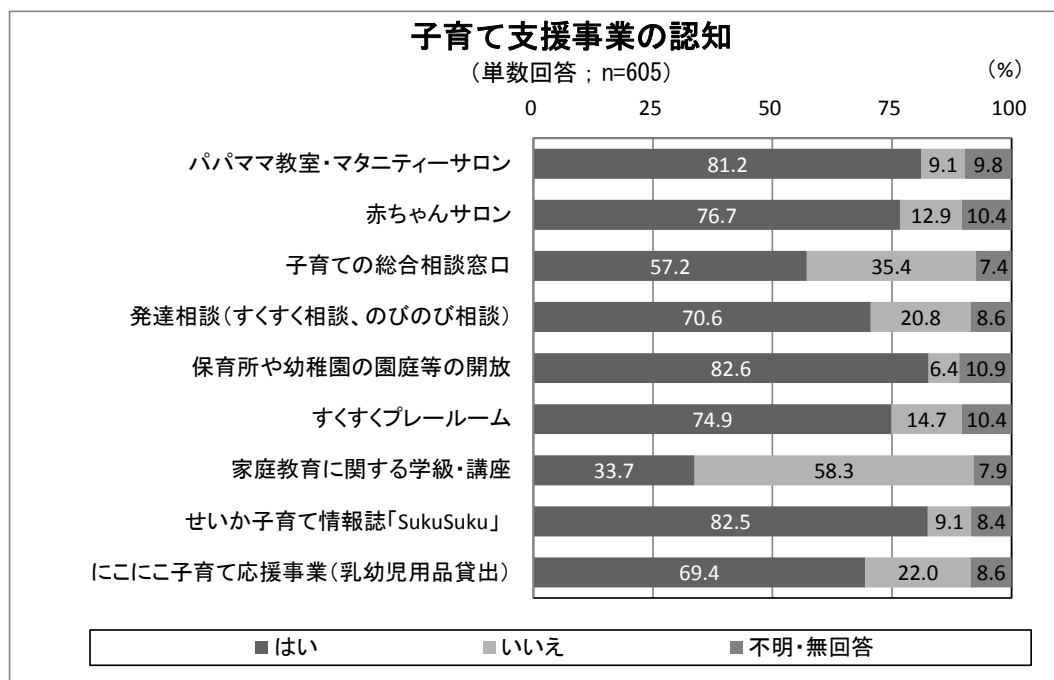
「利用していない」が最も多く 57.5%、次いで「地域子育て支援拠点事業」が 24.1%などとなっています。



② 子育て支援事業について

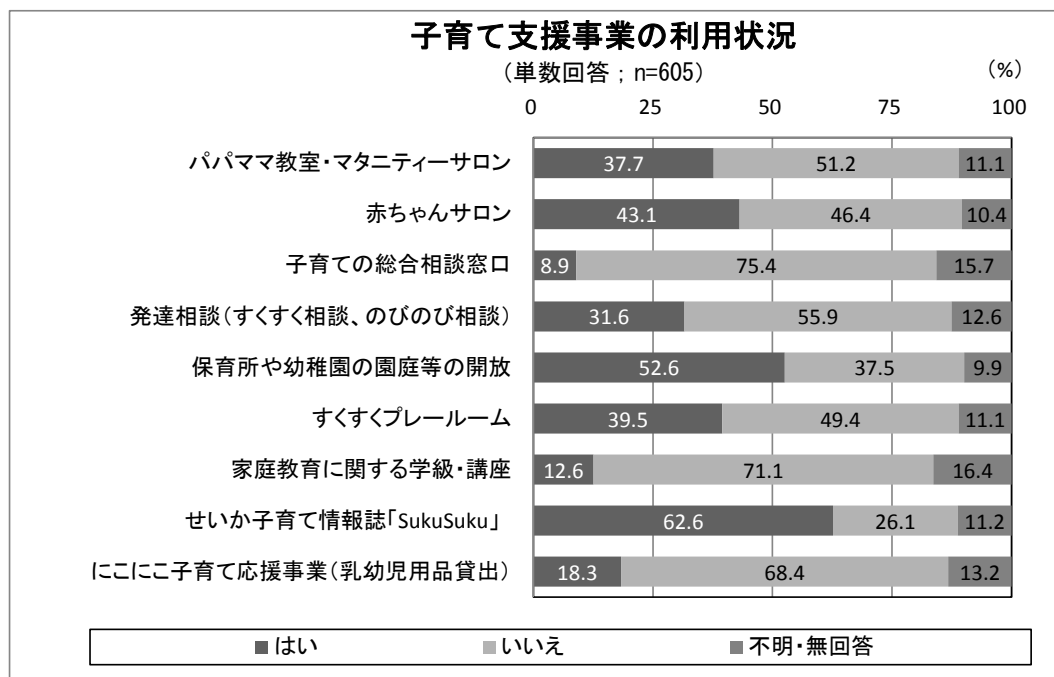
【認知】

「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が最も多く 82.6%、次いで「せいか子育て情報誌「SukuSuku」」が 82.5%、「パパママ教室・マタニティーサロン」が 81.2%、「赤ちゃんサロン」が 76.7%などとなっています。一方「家庭教育に関する学級・講座」は「知らない」が 58.3%と、認知度が低くなっています。



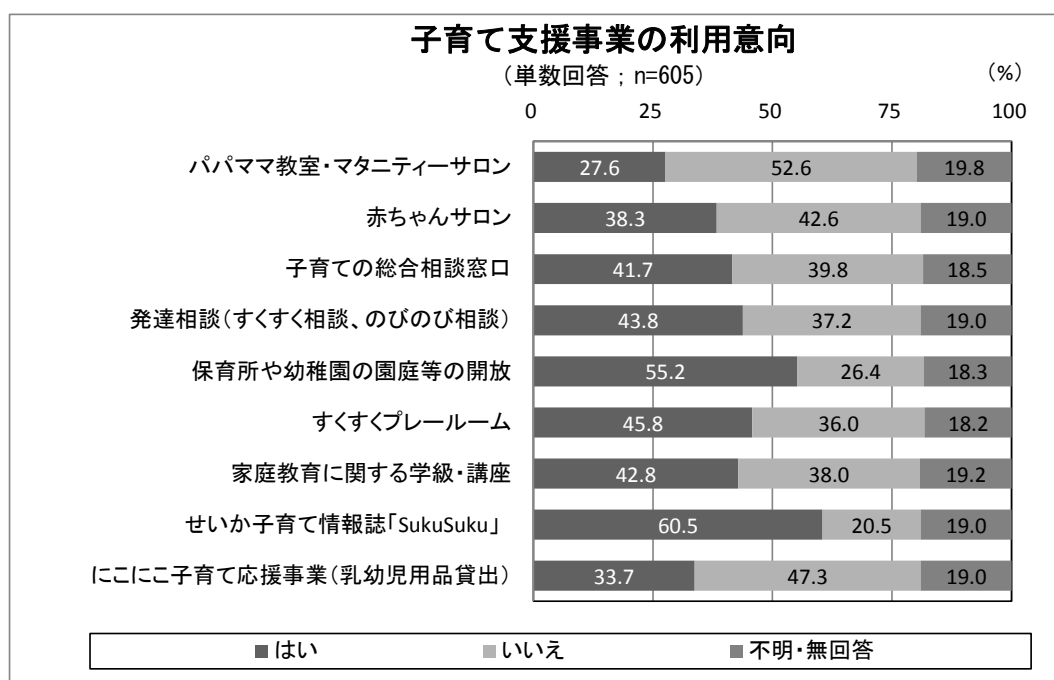
【利用状況】

「せいか子育て情報誌「SukuSuku」」が最も多く 62.6%、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 52.6%、「赤ちゃんサロン」が 43.1%などとなっています。



【今後の利用意向】

「せいか子育て情報誌「SukuSuku」」が最も多く 60.5%、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 55.2%、「すくすくプレールーム」が 45.8%などとなっています。

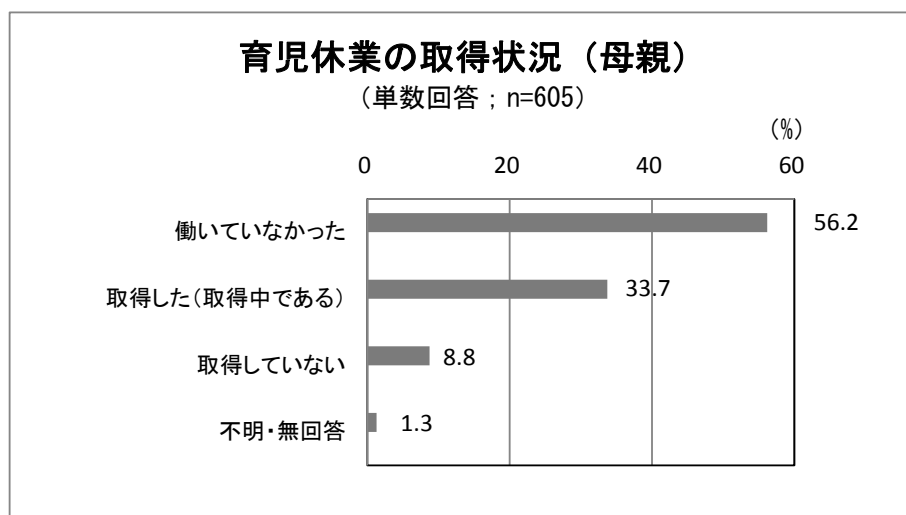


（６）職場の両立支援制度について

① 育児休業の取得状況

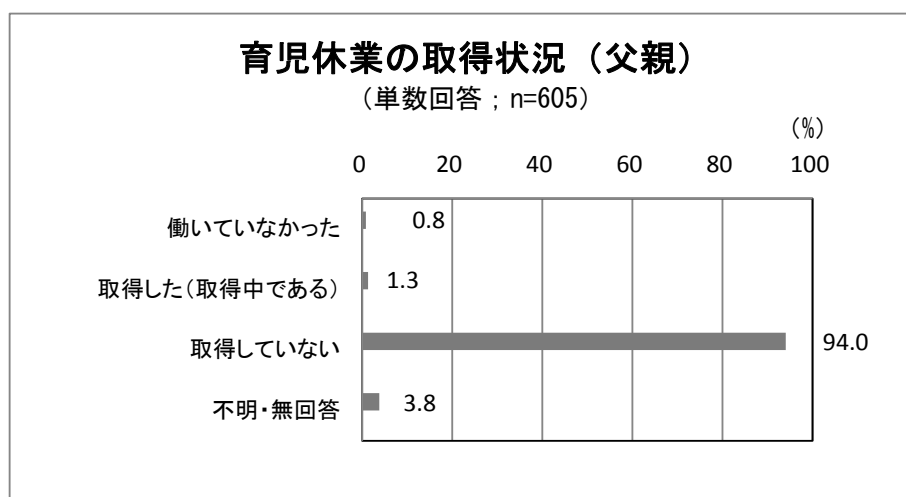
【母親】

「働いていなかった」が最も多く 56.2%、次いで「取得した（取得中である）」が 33.7%、「取得していない」が 8.8%となっています。



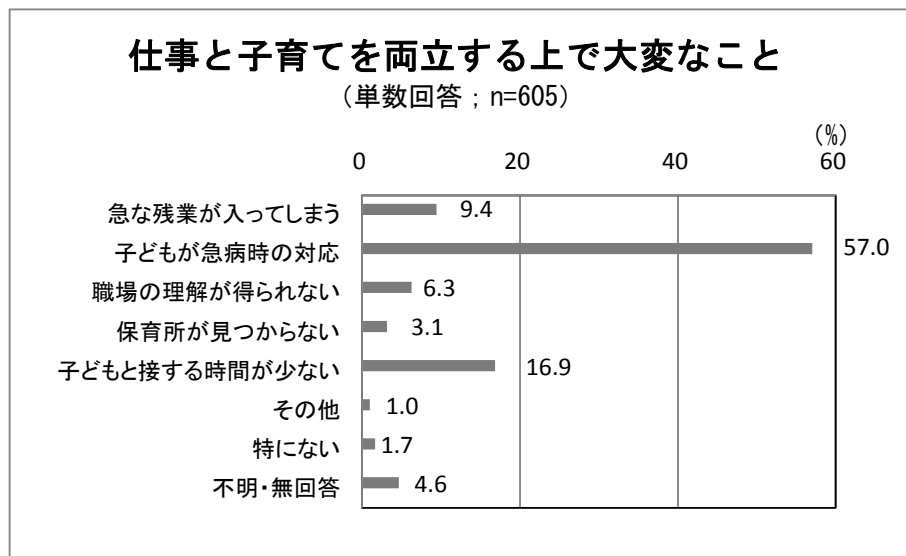
【父親】

「取得していない」が最も多く 94.0%、「取得した（取得中である）」が 1.3%、「働いていなかった」が 0.8%となっています。



② 仕事と子育てを両立する上で大変なこと

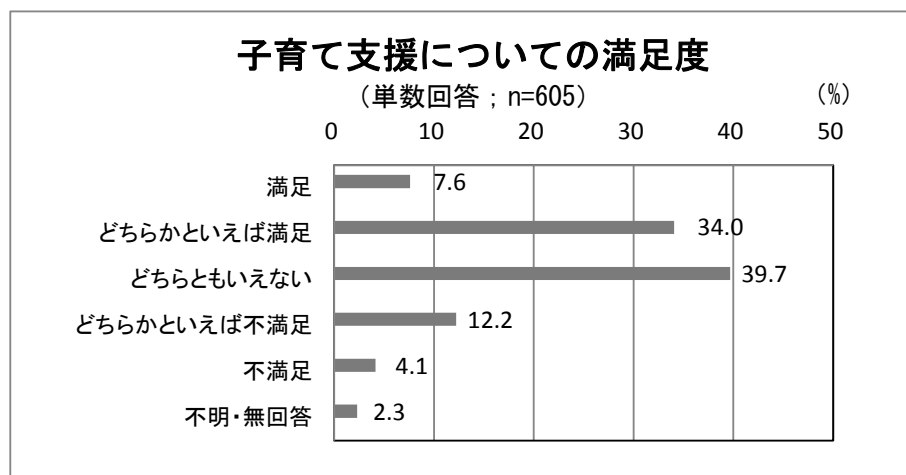
「子どもが急病時の対応」が最も多く 57.0%、次いで「子どもと接する時間が少ない」が 16.9%などとなっています。



(7) 子育て支援策全般について

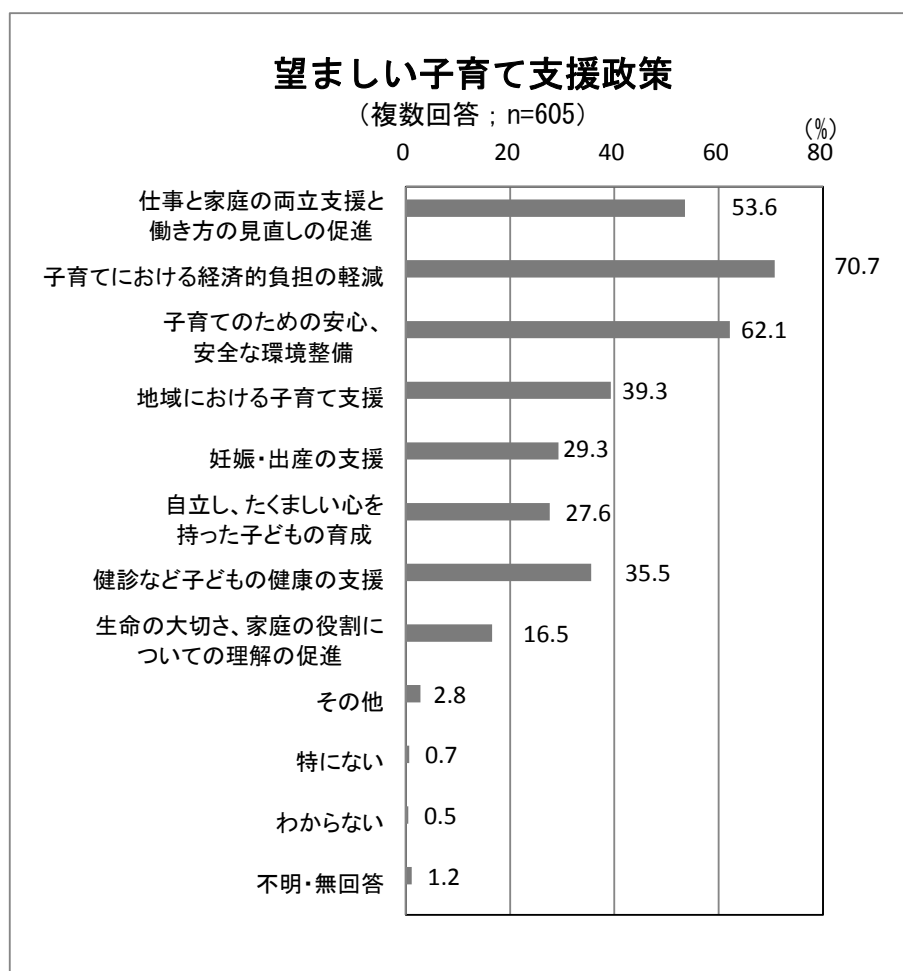
① 子育ての環境や支援への満足度

「どちらともいえない」が最も多く 39.7%、次いで「どちらかといえば満足」が 34.0%、「どちらかといえば不満足」が 12.2%などとなっています。



② 望ましい子育て支援施策

「子育てにおける経済的負担の軽減」が最も多く 70.7%、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」が 62.1%、「仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進」が 53.6%などとなっています。

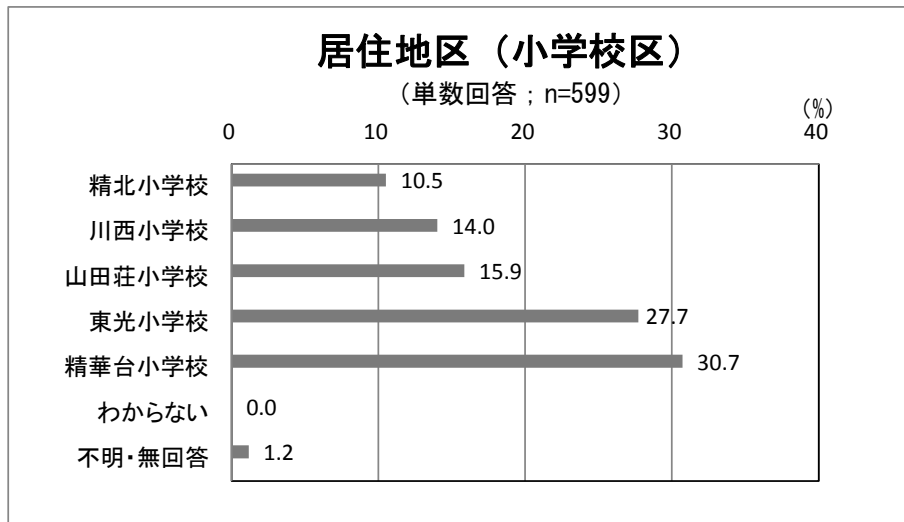


【小学生児童】

（１）回答者属性

① 居住区（小学校区）

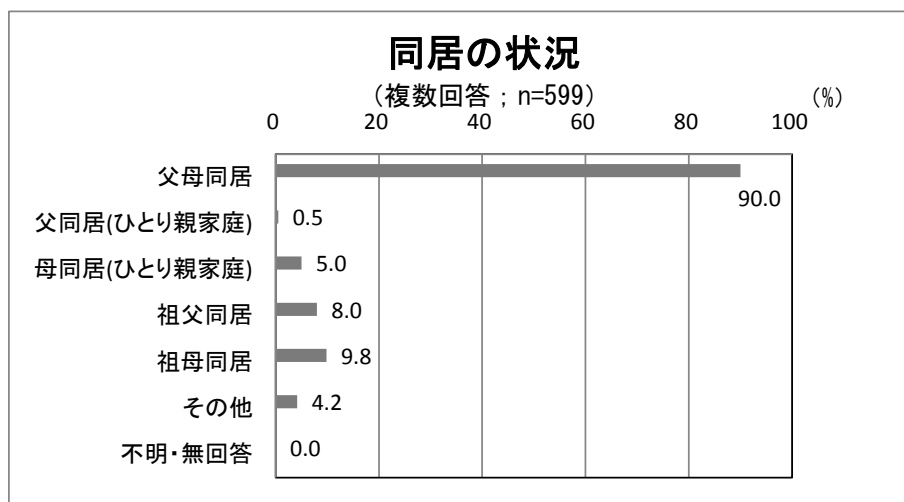
「精華台小学校」が最も多く 30.7%、次いで「東光小学校」が 27.7%、「山田荘小学校」が 15.9%、「川西小学校」が 14.0%、「精北小学校」が 10.5%となっています。



② 同居の状況

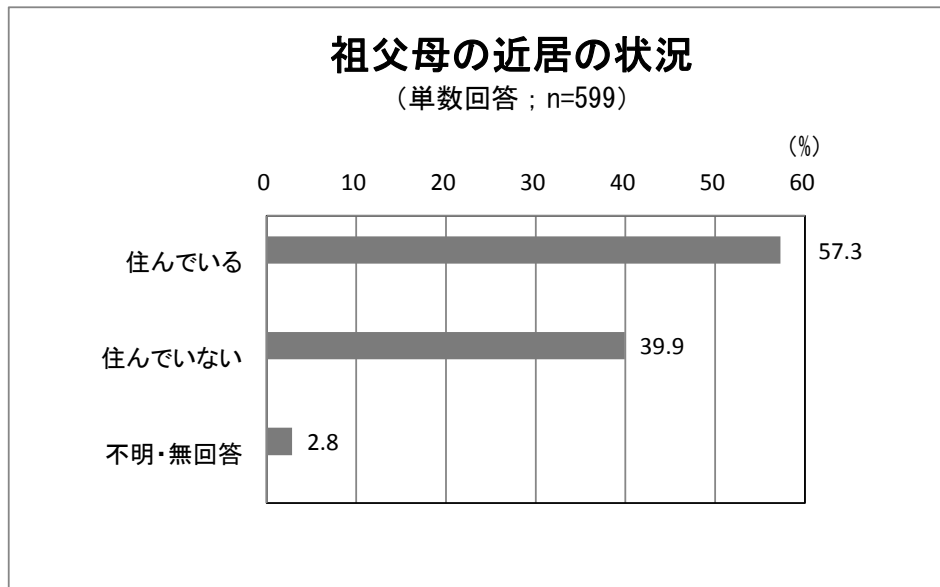
「父母同居」が最も多く 90.0%、次いで「祖母同居」が 9.8%などとなっています。

ひとり親家庭については、「父同居（ひとり親家庭）」が 0.5%、「母同居（ひとり親家庭）」が 5.0%となっています。



③ 祖父母の近居の状況

「住んでいる」が 57.3%、次いで「住んでいない」が 39.9%となっています。

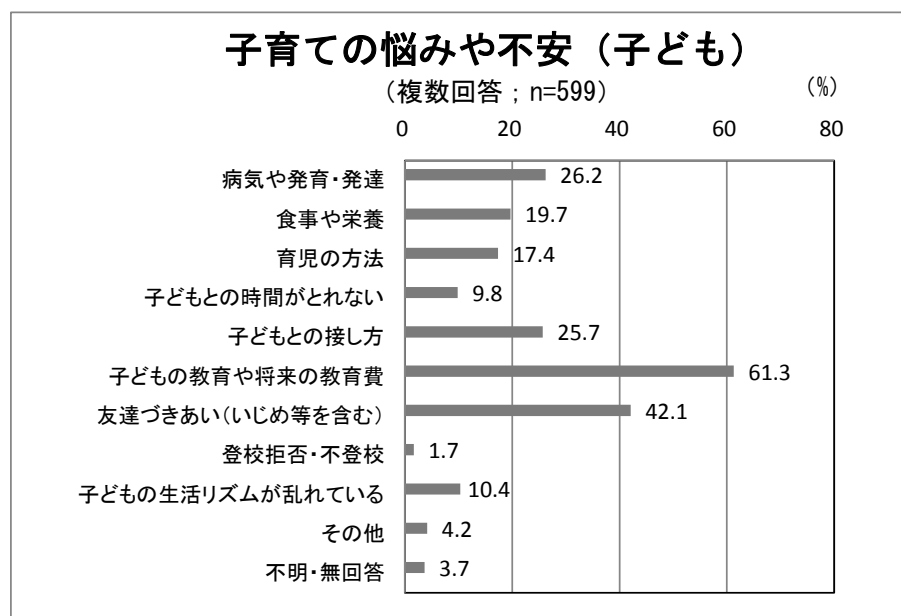


（２）子どもの育ちをめぐる環境

① 子育ての悩みや不安

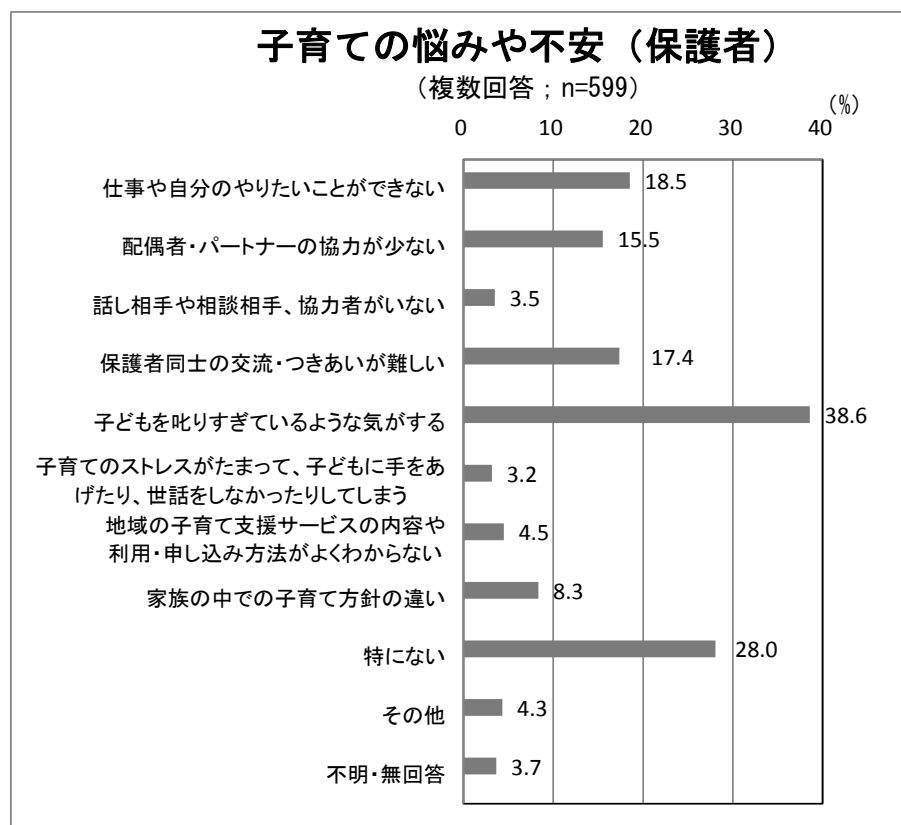
【子どもに対する悩み】

「子どもの教育や将来の教育費」が最も多く 61.3%、次いで「友達づきあい」が 42.1%、「病気や発育・発達」が 26.2%などとなっています。



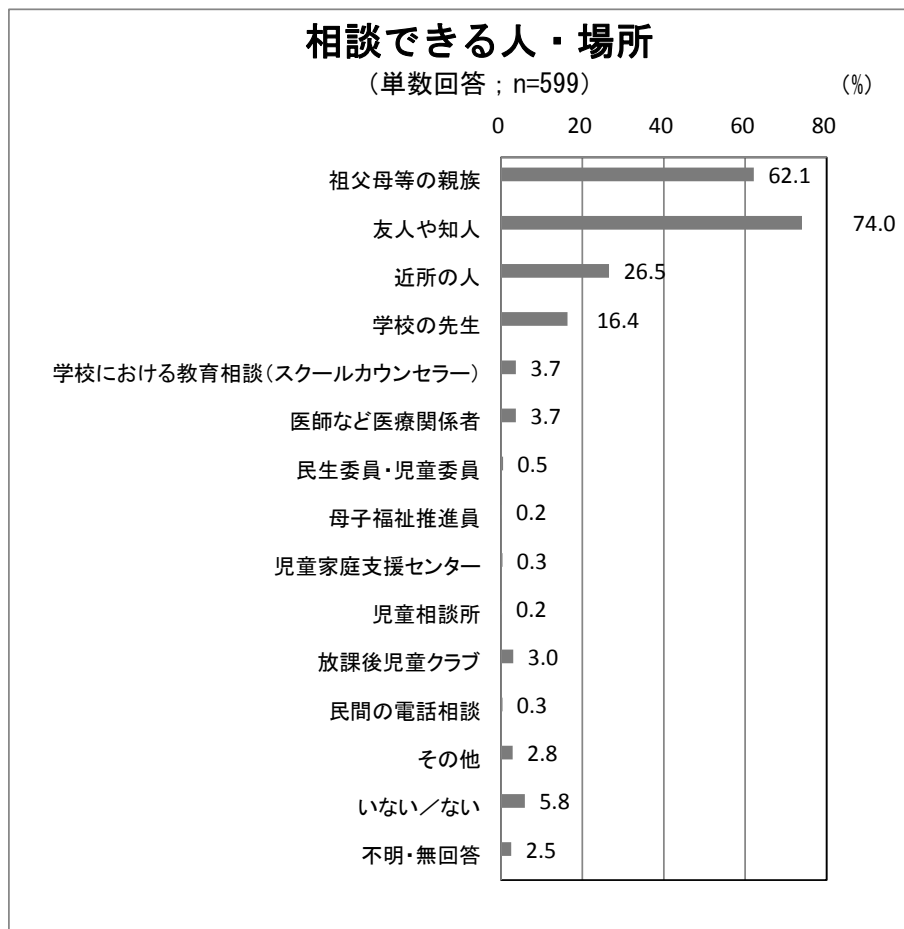
【保護者の悩み】

「子どもを叱りすぎているような気がする」が最も多く 38.6%、次いで「特にない」が 28.0%、「仕事や自分のやりたいことができない」が 18.5%などとなっています。



② 相談できる人・場所

「友人や知人」が最も多く 74.0%、次いで「祖父母等の親族」が 62.1%、「近所の人」が 26.5%などとなっています。また、相談できる人・場所が「いない/ない」は 5.8%となっています。

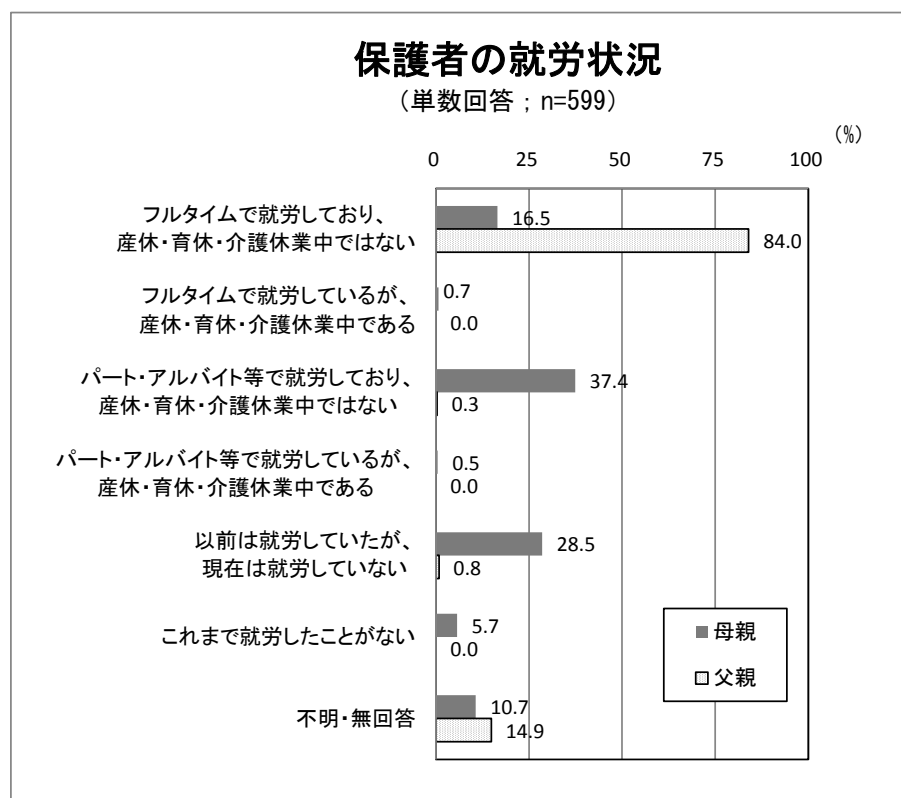


(3) 保護者の就労状況

① 保護者の就労状況

母親は「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 37.4%、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 28.5%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 16.5%などとなっています。

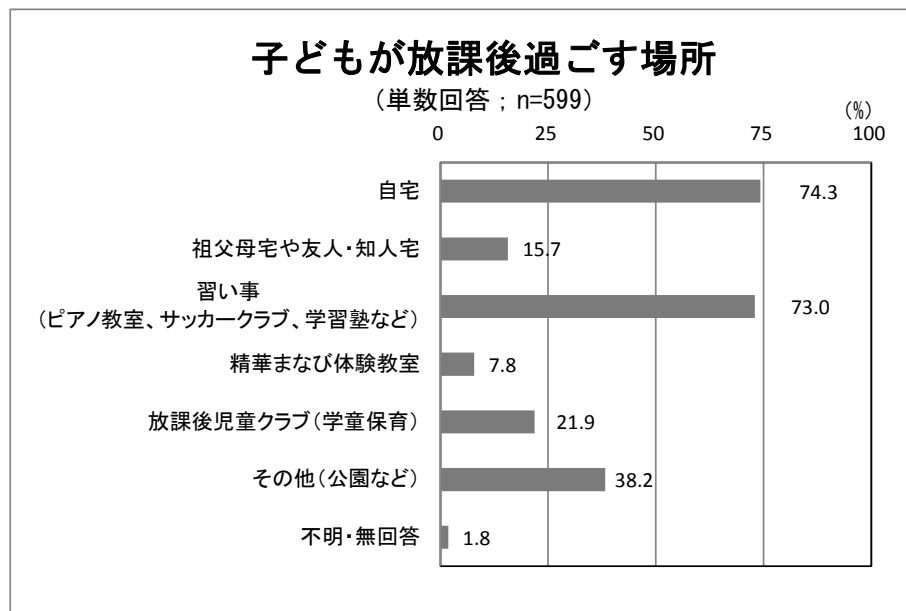
父親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 84.0%などとなっています。



（４）放課後の子どもの過ごし方

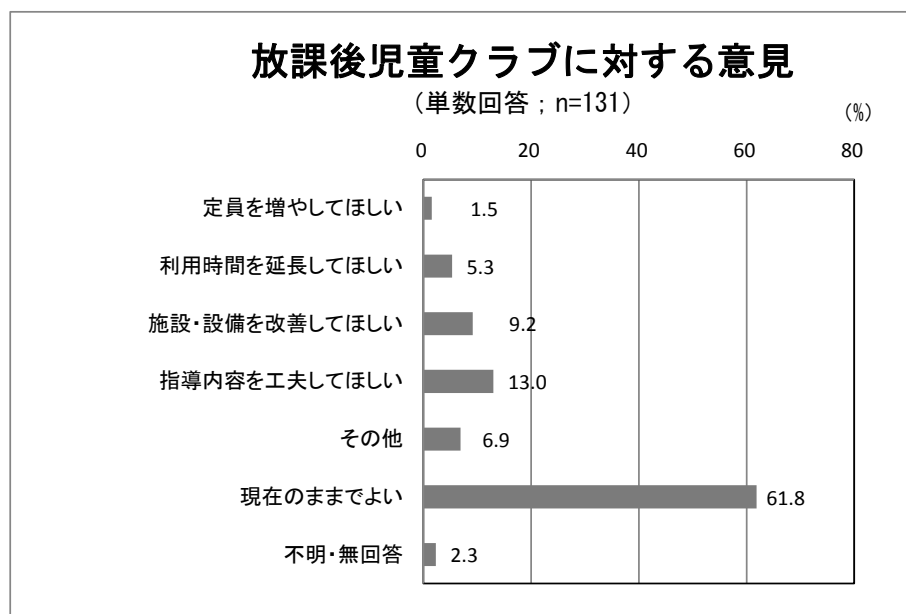
① 子どもが放課後過ごす場所

「自宅」が最も多く 74.3%、次いで「習い事」が 73.0%、「放課後児童クラブ」が 21.9%などとなっています。



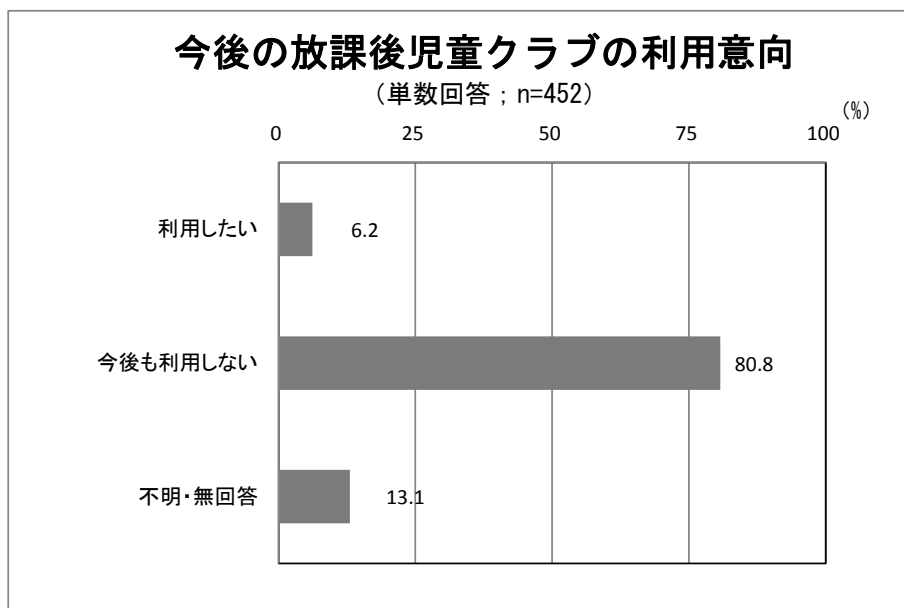
② 放課後児童クラブに対する意見

「現在のままでよい」が最も多く 61.8%、次いで「指導内容を工夫してほしい」が 13.0%などとなっています。



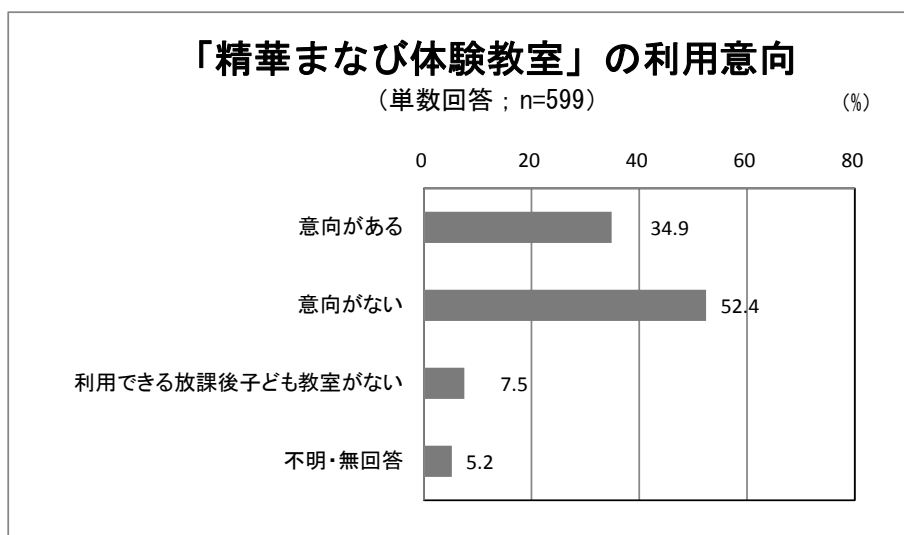
③ 今後の放課後児童クラブの利用意向

「利用したい」が6.2%、「今後も利用しない」が80.8%などとなっています。



④ 「精華まなび体験教室」(放課後子ども教室)の利用意向

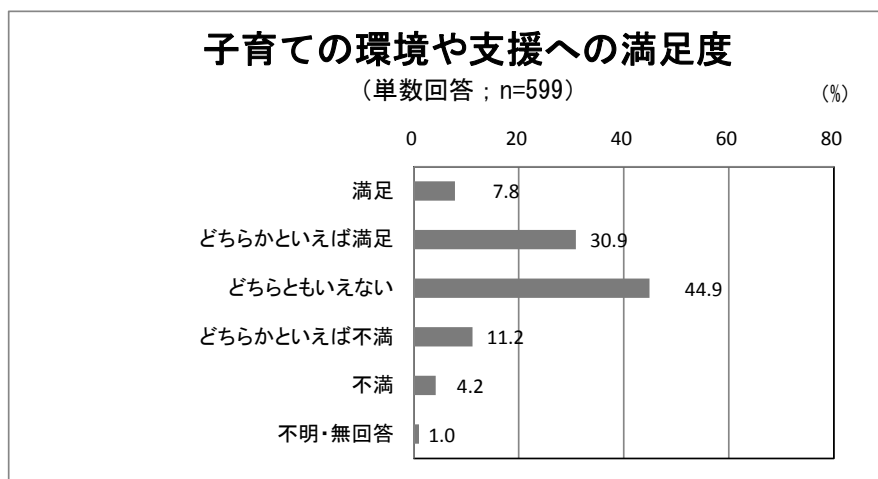
「意向がある」が34.9%、次いで「意向がない」が52.4%、「利用できる放課後こども教室がない」が7.5%などとなっています。



(5) 子育て支援策全般について

① 子育ての環境や支援への満足度

「どちらともいえない」が最も多く 44.9%、次いで「どちらかといえば満足」が 30.9%、「どちらかといえば不満」が 11.2%などとなっています。



② 望ましい子育て支援施策

「子育てにおける経済的負担の軽減」が最も多く 70.1%、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」が 63.3%、「自立し、たくましい心を持った子どもの育成」が 37.2%などとなっています。

